

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立美保関小学校)

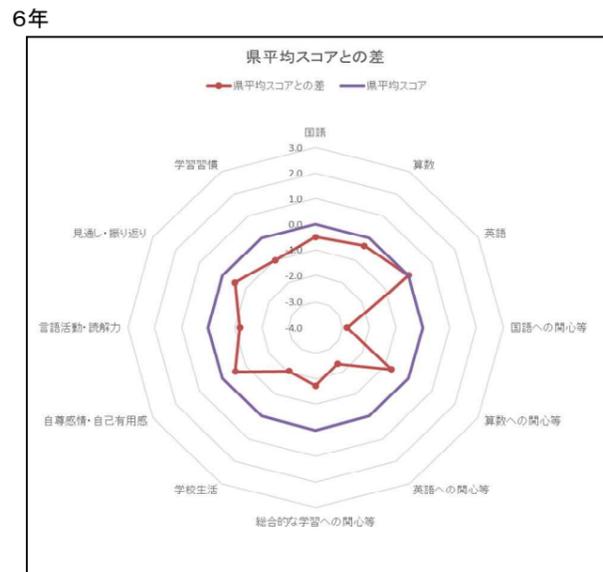
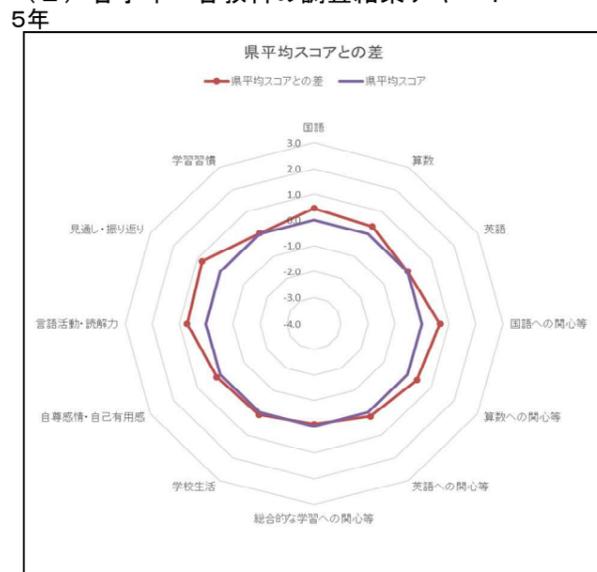
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○どの領域も県の平均より上回っている。中でも、読むことに関する問題の正答率が高い。(描写をとらえて登場人物の心情を読み取る、複数の文章を比べて読み自分の考えをまとめる) ●漢字を正しく書いたり、表現を工夫して書いたりする力に課題がある。	・小テストや書き取り会などで漢字やローマ字を繰り返し練習し、定着を図る。 ・学習サイクル(見直し、個人思考、伝え合い、振り返り)を確立し、主体的に学習に向かえるようにする。 ・授業の中で、自分の考えを友達に伝えたり、書いてまとめたりの場面を積極的に設ける。
	算数	○どの領域も県の平均より上回っている。中でも、量と測定、図形に関する問題の正答率が高い。(直方体の高さを求める、台形の特徴など) ●除数が小数のときのわり算、直方体の展開図に関する問題の正答率が低い。	・朝のミニテストを継続し、基礎基本の習熟を図る。 ・文章問題では、「印、図、式、答え、単位」を合言葉に、題意を確実に読み取り、自分の力で解決できるようにする。 ・算数の学習コーナーを活用して、発展的な問題に挑戦できるようにする。
6年	国語	○授業の中で、目的(視点)をもって文章を読むように指導を続けたことにより、読むことに関する問題は、他の領域と比べると正答率が高い。 ●漢字やローマ字を書いたり、分かりやすく表現を工夫して書いたりする力に課題がある。	・小テストや書き取り会に向けて、漢字やローマ字を繰り返し練習したり、効果的な家庭学習の仕方を指導したりして定着を図る。 ・目的や読み手を意識して文章を書く活動を意図的に取り入れると共に、文の書き方(スキル)の指導を行う。
	算数	○図形で、線対称、点対称になっているものを選ぶ問題は、正答率が高い。 ●図形の角の大きさを求める問題や小数のかけ算を使って求める問題、活用問題や記述式の問題の正答率が低い。	・朝のミニテストを継続し、つまづきが見られた問題については、重点的に指導して定着を図る。 ・授業では、自分の考えを表現したり、説明したりする活動を積極的に取り入れる。算数の学習コーナーを活用して、発展的な問題に挑戦できるようにする。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○学習に対して意欲的に取り組んでいる様子が見える。 ○読書が好き、図書館などの本を活用して学習することに意欲的である。 ●将来の夢や目標をもっている子どもの割合が低い。	・学力向上支援員、にこサポによるTT指導や習熟度別指導を実施し、個に応じた指導を充実させる。 ・発展的な問題や子どもたちの生活にかかわる問題を効果的に取り上げ、学習意欲の向上を図る。
	家庭学習に関わる事項	○地域の方と一緒に活動する機会も多く、地域の行事に積極的に参加している子どもの割合が高い。 ●宿題以外の予習や復習といった自主的な学習を行うまでには至っておらず、家庭学習を1時間以上する子どもの割合は低い。 ●平日のスマートフォンやゲームの使用時間が県平均と比べて長い。	・自主学習のメニューを充実させたり、家庭と連携し、メディアコントロールに取り組んだりする。
6年	授業改善に関わる事項	○授業でふり返る活動をよく行っていると答えた子どもの割合が高い。 ●読書や本を使って学習する授業が好きだと答えた子どもの割合が約40%で、県平均と比べて低い。 ●国語や算数が好きだと答えた子どもが50パーセント以下で、国語や算数に対して興味・関心が低い。	・学校図書館を活用した学習の充実と読書活動の推進を図る。 ・授業では、学習意欲が高まるように課題提示の工夫をするとともに、「わかった」「できた」という実感がもてるように活動や指導、支援の仕方を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○家で自分から勉強していると答えている割合が約90%であることから、自主的に学習に取り組もうとする意欲がある子が多い。 ●平日の家庭学習時間が1時間以上の子どもの割合が約55%、2時間以上が約7%で、県平均と比べて学習時間が短い。 ●平日のスマートフォンやゲームの使用時間が県平均と比べて長い。	・宿題や自主学習のメニューの内容を充実させたり、取り組み方の指導したり、励ましたりして、学習意欲が高まるようにする。 ・家庭と連携してメディアコントロールに取り組む。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	67	66
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 22人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	42	51
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 27人

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

